

ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアルの主な改定ポイント（平成21年3月）

項目	主な改定ポイント
1 用語・略語の定義	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 用語・略語の定義を追加した（高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計(GC/HRMS)）。</li> <li>○ 以下、「GC/MS」を「GC/HRMS」とした。</li> </ul>
4 調査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 図-2を簡易測定法マニュアルと整合性をとり、一部追記した。</li> </ul>
5 測定分析方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ カラムの規定で、簡易測定法との違いを明確にした。</li> </ul> <p>PCDDs 及び PCDFs の測定では、使用する温度条件において2,3,7,8-位塩素置換体が可能な限り単離でき、かつ、すべての化合物についてクロマトグラム上における溶出順位の判明しているカラムを使用し、2,3,7,8-位塩素置換体すべてを単独に定量することが望ましい。すべての2,3,7,8-位塩素置換体を他の異性体と完全に分離できるカラムは報告されていないので、溶出順位の異なる2種以上のカラムを併用することとする。単独に定量できない2,3,7,8-位塩素置換体がある場合、重なっている異性体の影響が無視できず、測定結果に大きく影響することがあるので注意する。</p> <p>Co-PCBs の測定では、使用する温度条件において、12種類のCo-PCBsが他のPCBs化合物と可能な限り単離でき、かつ、4塩化物から10塩化物のすべてのPCBs化合物についてクロマトグラム上における溶出順位の判明しているカラムを使用することとした。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ その他、誤字脱字等の修正を行った。</li> </ul>